

ラムサール条約湿地 葛西海浜公園

(2018年10月18日登録)

葛西海浜公園には、さまざまな渡り鳥が飛来します。冬には、スズガモが海を埋め尽くすように群れをなしているほか、多くのカンムリカイツブリを観察することができます。

この公園の干潟は、平成30年(2018年)10月に国際的に重要な湿地であることが認められ、東京都で初めてラムサール条約湿地に登録されました。

大都市に残された広大な干潟の環境が保全され、人々のさまざまな営みが豊かな自然と共存しているこの公園は、国際的にも貴重な事例となっています。

東京都は、これからも地域住民や公園利用者とともにこの干潟を守り、活用する取組を進めていきます。



スズガモ

カンムリカイツブリ

ラムサール条約とは

正式名称 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条例

湿地の保全とワズユース*を目的に、1971年にイランのラムサールで採択されました。日本は1980年に加入しており、釧路湿原や尾瀬などが登録されています。

葛西海浜公園は9つの基準のうち、「生活環の重要な段階を支える上で重要な湿地」、「定期的に2万羽以上の水鳥を支えている湿地」、「水鳥の1種または1亜種の個体群の個体数の1%以上を定期的に支えている湿地」の3つを満たしています。

*ワズユース(Wise use)=賢明な利用
湿地の生態系を損なわず、持続的に維持・利用していくことにより、人間の生活を豊かにするとともに、次世代へと継承していくことを目指しています。



◆都市と共存する葛西海浜公園



◆コメツキガニ



◆公園に飛来する水鳥

*ここで紹介する生き物は来園時に必ずしもご覧になれるとは限りませんのでご了承ください。



晴海ふ頭公園 Harumi Port Park

https://www.tptc.co.jp/park/02_01



■所在地 〒104-0053
中央区晴海五丁目
■問合せ
辰巳の森海浜公園管理事務所
TEL:03-5569-8672
FAX:03-5569-8673

景色が綺麗な港の公園。東京2020大会では選手村の一部でもありました。噴水やカフェ、遊びの広場に加え、レインボーブリッジや臨海エリア・都心エリアを一望できる海辺のテラスもあります。また、正面入り口には大会レガシーとして銘板などがあります。

開園年月日 ● 昭和50年12月1日
開園面積 ● 35,501.81㎡
施設 ● コネクトハルミ・展望広場・グラスガーデン・多目的広場・遊びの広場・ジョギング散策路・五輪植栽の花壇・海辺のテラス・花木のテラス・駐車場(37台)1時間500円(最初の30分無料)、平日24時間以内1500円
ConneCT HARUMI (コネクトハルミ)
カフェレストラン、完全予約制のガーデングリルの他、コワーキングスペースもあります。
●カフェレストラン・ガーデングリル・コワーキングスペースの店舗名称 : O.GARDEN (オー・ガーデン)
(詳しくはこちら<https://www.o-garden.tokyo/>)



◆ConneCT HARUMI (コネクトハルミ)



◆遊びの広場にある、船の形をした大きなすべり台付き遊具。

交通アクセス

都 バス 大江戸線「勝どき駅」から都03または都05系統「晴海埠頭」下車/徒歩2分(駐車場37台)

